

## 会議速報

件 名	平成26年度第1回 鹿児島市男女共同参画審議会	作 成 課	市民文化部 男女共同参画推進課
日 時	平成26年7月31日(木) 10時30分～12時00分		
場 所	東別館9階 特別中会議室		
出 席 者	委員18名(田中委員、牧委員 欠席)		
市出席者	市民文化部長、男女共同参画推進課職員		
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付式</li> <li>3 会長及び副会長選出</li> <li>4 議事               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 男女共同参画審議会について</li> <li>(2) 本市の男女共同参画の推進状況について                   <ol style="list-style-type: none"> <li>① 第2次男女共同参画計画に基づく平成25年度事業実施状況及び平成26年度事業実施計画</li> <li>② 本市における女性の公職参画状況</li> </ol> </li> <li>(3) 男女共同参画都市かごしま宣言について</li> </ol> </li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>		
主な意見等	<p><b>1. 本市の男女共同参画の推進状況について</b> (主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先日職業訓練校に行ったときに、企業に応募した若い女性が、「あなたは結婚して子どもを産むだろう。そうなったら休むとか辞めるとかあるので、うちではこの年代の女性は採用していません。」といわれたと泣きながら話してくれた。企業、特に中小企業にはどの程度周知されているのか。</li> <li>・民生委員は、女性が多く、今はなり手がいない。若い人はやりたがらない。</li> <li>・人権擁護委員は男女共同参画を学んで高校などで広めることになっているが、なかなかできていない。今年は企業向けのセクハラ、パワハラ研修に取組んでいる。</li> <li>・看護協会としてワークライフバランスに取組んでいる。トップの経営者の意識づくりが大切。</li> <li>・銀行の企業内で育児中の女性にアンケートした。ハード面の制度よりもソフト面への希望が多く、職場の上司の理解、何かのときに休める職場の雰囲気の方に要望があり、市が啓発することは非常によい。</li> <li>・うちは中小企業の集まりの青年部で、このような男女共同参画の取組内容は知られていない。周知していく方法があれば。</li> <li>・学校における男女共同参画について、内外の事情がある。内部としては、老若男女の先生がいることは子どもたちの個性を磨き、成長させるために欠かせないと思うが、外部の保護者には、男性の先生に受け持ってもらいたいという意識がある。</li> <li>・20～40代の女性が、家庭、職場以外でキャリアを活かして自分らしく生きることを目指すコミュニティとして活動しているが、男女共同参画センターのホームページは、どこで何が行われているのか、情報を取得しづらい。</li> <li>・先ほどの若い女性を採用しないという事案は、雇用均等室の所掌であるが、あまり認知されていない。法律的にできることはいろいろあるが、知られていないので、周知には市も協力してもらいたい。また、ワークライフバランスのための企業向けセミナー等も検討から実施に移してほしい。男性の育児参加は、意識の問題だと感じるので、市職員だけでなく、市民向けの啓発を国だけでなく市にやっていただきたい。</li> </ul>		

主な意見等

- ・県も課題として周知に取り組んでいる。7月25日から31日まで県の男女共同参画週間で、普及啓発の週間として7月26日に県民交流センターで講演会、ワークショップなどの活動をし、マスコミでも報道された。また、男女共同参画センターで年2回「センターだより」を12000部ほど配付するほか、研修、講演等を実施している。学校の児童向けに男女共同参画の学びのひろばという事業を昨年度から実施している。市民、県民、企業向けへの普及啓発は関係機関、団体と連携しながら進めている。
- ・企業向けの研修会の開催が、昨年、おととしと研究になっているが、実施していただきたい。
- ・報告でセクハラ防止研修の実施とかしているとのことだったが、回数が少なくなったり、間が空くとどうしても意識が薄れてしまうところがある。常に意識を持ったところではないといけないと感じている。企業向けの研修会も始めるときは難しいと思うが、自分も公募委員として協力できれば。
- ・サンエールフェスタは男性が減少している。男性が参加してみたいと思えるような内容ができれば。
- ・男女共同参画は人々が暮らす中で常に存在する。網の目のようにからんでくる。整理統合での予算削減については、必要なものは残していただきたい。
- ・デートDVの予防教育しているが、そろそろ学校に届けるスタイルから、教育現場で先生や保護者といっしょに考えるスタイルにシフトすべき。学校教育の中での男女共同参画教育の一つの柱になれば、先ほど女性の先生だと、妊娠・出産で担任が変わるという声があってという話があったが、「男女共同参画とは何か」、こどもたち、職員、保護者にとって、とても大きな意義のある学びのチャンスになる。また、ワークライフバランス、子育て支援、少子化対策などのあらゆる施策には、男女共同参画の視点がしっかり貫かれているということが大事である。
- ・弁護士として法律相談に携わるが、件数が多いが相談だけで終わり、救済につながっているのだろうかと感じる。弁護士相談だけで難しければ、警察やシェルターほかの機関と確実につなげるために、具体的・実践的な連携ができればと思う。
- ・報道機関として、男女共同参画が遅れている鹿児島でも、先進的な事例もたくさんあるので、進んでいる事例をより出して啓発につなげたい。市や県の広報紙やホームページでもそのような事例を出して行くことが必要。

## 2 男女共同参画都市かごしま宣言について

(説明のみ)

### (審議結果)

- ・次回の第2回審議会は10月に開催予定。男女共同参画都市かごしま宣言についての協議を主な議題とする。